

障害のある人たちのいのちを守る請願署名のお願い

コープあいち組合員の皆さまへ

きょうされん 第49次

国会請願署名・募金運動 全国キャンペーン

2025年12月～2026年4月



募金のお願

いただいた募金は、本キャンペーンを風防するための費用や当金が運動をするための活動資金として有効に活用させていただきます。

# 障害があっても 安心して生活できる社会に

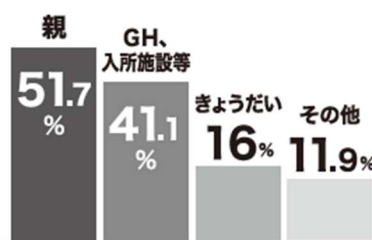
わたしたちは  
「きょうされん」です

当会は、旧称を「共同作業所全国連絡会」と言い、障害のある人たちが「働く・活動する」事業所をはじめ、グループホーム、相談支援センターなど、約1800カ所の事業所が会員となっています。わたしたちは、障害のある人たちの暮らしをゆたかにするための制度の拡充を求め、活動を続けています。

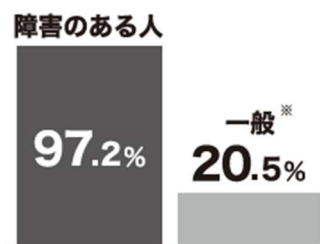
## 障害のない人と 同等に暮らせる社会に

きょうされんが2023年に実施した「障害のある人の地域生活実態調査」では、不十分な所得保障や家族介護に依存した生活実態があり、依然として障害のない人と同等の暮らしを阻んでいることがあきらかになりました。あたりまえに働き、自身が望む暮らし方を選べる社会となるのがわたしたちの願いです。

40代前半、誰と住んでるか



年収200万以下の人の割合



※令和4年分民間給与実態統計調査

## 職員不足は危機的な状況 支援が続けられない事態に

社会全体では賃上げがすすんでいます。障害福祉職員の賃金は相変わらず全産業平均にまったく及びません。最新の調査でも、その差は7万8000円となっています。その影響から一年中、職員募集を続ける状態になっています。このままでは、一人ひとりと向き合った支援を続けることはできません。

障害福祉関係 30.8

全産業平均 38.6

差額  
7万8千円

0 10 20 30 40 (万円)

「賃金構造基本統計調査」に基づき厚生労働省障害福祉課作成



障害福祉事業や補装具などの自己負担をなくしてほしい



障害年金を大幅に引き上げて



家族介護依存ではなく暮らしを選べる制度に

裏面に署名欄があります。ご住所とお名前をご記入の上、配送担当者もしくは店舗サービスカウンターに、「2月末まで」にお渡しください！

～ 署名用紙に記入されたお名前とご住所は、請願として国会に提出目的以外に使用することはありませんので、ご安心して署名のご記入をお願いします。

## ◆募金へのご協力もお願いします◆

商品案内「2月3週号」及び「2月4週号」にて募金もお願いします。下記注文番号を OCR 用紙に記入、もしくは e フレンズの注文番号に入力して募金をお願いいたします。

注文番号 **12989** 1口で「100円」の募金となります

●署名の請願項目等もっと詳しく知りたい方



●きょうされんの活動がもっと知りたい方  
＜動画もあります＞



<取り組み団体>  
◆コープあいち  
(052)703-6055

◆きょうされん  
愛知支部  
(052)681-1180

# 障害福祉についての 法制度拡充を求める請願

2026年 月 日

衆議院議長様 参議院議長様  
紹介議員 印  
請願人代表氏名  
請願人代表住所  
(他 名)

## 【請願趣旨】

2024年7月の優生保護法裁判の最高裁判決と、これに続く補償法の成立は、日本の人権政策、障害者政策に新たな一步を刻みました。この勝訴判決は、被害者の人権と尊厳の回復にとどまらず、社会にはびこる優生思想に真正面から向き合うものです。

一方で、障害のある人の現実とはかつてなく厳しい状況に追い込まれています。長引く物価の急騰は、低所得の障害のある人の暮らしと希望を直撃しています。同時に、福祉現場の職員不足は深刻さを増し、2024年度の報酬改定はこれに追い打ちをか

けるものでした。

さらに2025年10月からの「最低賃金上昇」によって、事業所は財源確保に苦慮しています。障害のある人をもうけの対象とする営利企業の障害福祉への参入も見逃すことができません。

障害者権利条約が求める「他の者との平等」を実現するために、優生思想による偏見・差別の根絶や障害福祉予算をOECD諸国の平均並みに増大することは、国会と政府の喫緊の課題です。障害のある人の人権が守られ、必要十分な支援が得られるよう、以下要望します。

## 【請願項目】

1. 障害のある人が安心して生活できるよう障害年金を増額してください。
2. 深刻な家族介護依存から脱却するために暮らしの場やヘルパー制度を早急に拡充してください。
3. 障害のある人たちが十分な支援を受けられるよう職員不足の最大要因である低賃金を解消するために、基本報酬をはじめとした公費を大幅に引き上げてください。
4. 障害のある人や子どもが利用する障害福祉や補装具等、生活に不可欠な支援の自己負担を廃止してください。
5. 障害のある人が65歳になっても、自己負担なく、必要な支援を自ら選べるようにしてください。
6. 地域生活の基盤として大切な役割をもつ地域活動支援センターについて、国の責任で実態を調査し、安定した運営ができるよう制度を拡充してください。

氏 名(フルネーム)	住 所(番地までご記入ください)
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県
	都道 府 県

募金にご  
協力をお  
願いま  
す！

署名と合わせて「募金」にご協力をお願いします。  
『2月3週号』  
及び  
『2月4週号』  
にて注文番号  
「12989」入力  
で、1口100  
円の募金とな  
ります。

◇ 署名は、ボールペンまたはサインペンでお願いします。 ◇ 住所は「同上」、「〃」は使わず、番地までご記入ください。 きょうされん

※請願署名のとりくみは、「個人情報保護に関する法律」には抵触しません。また、署名用紙に記入された氏名・住所は、請願として国会に提出する目的以外に使用することはありません。